

セーフコミュニティをめざして ～安全・安心なまちを、地域全体で～

自治会の防犯カメラ設置に補助します

市では、現在、セーフコミュニティ国際認証取得に向けて、市民の皆さんと一緒に取り組みを行っていますが、この取り組みを推進するため、自治会に対し、特に子どもや女性などを対象とした犯罪の未然防止などを目的に防犯カメラ設置補助事業を実施します。詳しい事業内容は6月に各自治会へご案内しますので、ぜひご確認ください。

補助金額 設置にかかる費用の2分の1の額で、防犯カメラ1台当たり上限 15 万円（予算の範囲内での補助となります）


主な要件 カメラ本体は記録媒体を内蔵したタイプのものであること（外付け録画装置や映像を表示するモニターは対象外） など

問合せ 人権市民協働課（市役所1階2番窓口）

市民活動支援センターの「愛称」に投票を！

■ 市民活動支援センター愛称案

番号	愛称名	由来
①	アミアス	「日本一の毛布のまち」から。毛布を編み【アミ】込むと明日【アス】、私たち（US）【アス】を繋ぎ「歴史と文化に根差した泉大津市の明日（未来）を編み織り成す私たちの市民活動支援センター」という意味を込めました。また【アミ】(ami)はフランス語で「親しい友人」を意味することから、多くの市民に親しまれ、長く愛される泉大津市民の活動支援センターであることを願い応募させていただきました。
②	フレピア	フレンド、ふれあいのなどの「フレ」に、ユートピアや、仲間や広場等の「ピア」を結び、市民活動を通じ、みんながふれあい、夢のある地域を育む拠点施設という思いを込めました。
③	ゆめりある	今日よりも明日が市民にとって住みよい社会となるよう、地域活動をしている個人やグループが、民活センターを利用することによって、自分たちや市民の理想とする夢の実現に少しでも近づけることを期待して、「ゆめりある」と命名する。
④	おづぶらざ	泉大津市の地域は古くから小津と呼ばれていました。ぶらざは市民が集う広場です。
⑤	ユイオス	ユイは市民が結（ゆい）の心で交流すること。オスは押す、支援する、憩のオアシスを意味します。



今年の1月、市民活動支援センターがテクスピア大阪5階にオープンしました！ ボランティアや市民活動など、市民の皆さんが自発的に行っている公益的な活動を支援するための施設です。

その施設の愛称を募集したところ、57作品もの応募をいただきました。泉大津市市民活動支援センター愛称選定委員会で厳正な審査を行い、5作品を選定しました。次の5作品の中から、多くの人に親しまれ、愛着の持てる愛称を1作品選び、投票してください。

(切り取り線)

泉大津市市民活動支援センター愛称投票用紙

【愛称番号】 (①～⑤の数字)	【住 所】 泉大津市
【氏 名】	

投票箱設置場所 ▷市役所1階ロビー ▷市民活動支援センター ▷南・北公民館 ▷図書館 ▷総合体育館 ▷市民会館

投票方法 左の5作品の中から1点を選び、その作品の番号と住所、氏名を投票用紙に記入し、市役所などに設置している投票箱に入れる（1人1回限り。2票以上の投票は無効）。郵送ファクス、メールでの投票も可能※必要事項が記入されていれば用紙・様式は不問


締切 5月31日(日)午後5時まで（必着）

投票できる人 本市在住、在勤、通学、または本市内で市民活動を行っている人

投票箱設置場所 ▽市役所1階ロビー ▽市民活動支援センター

問合せ ▽人権市民協働課（市役所1階2番窓口） ▽市民活動支援センター（〒595-0002 旭町22-45 テクスピア大阪5階 ☎24・9016、FAX 24・9017、メール izumiotsu-ninkatsu@office.eonet.ne.jp 午前9時30分～午後5時15分 水曜日と祝日は閉館）


好評につき 週2回に拡大！



和歌山県 日高川町の産直品直売所

月曜と金曜は 中央商店街へいらっしゃい！

泉大津中央商店街の「風街（かぜまち）」では、本市の友好都市・和歌山県日高川町の新鮮な果物・野菜を即売する産直品直売会を週に2回行っています。従来は週1回の開催でしたが、市民の皆さんからの好評を受け、4月から開催日を増加。新鮮な特産品を安く買い求められますので、ぜひお越しください。



お客さんでにぎわう「風街」

毎週 月曜日・金曜日 午前10時オープン！

中央商店街内「風街（かぜまち）」にて

問合せ 泉大津中央商店街（代表・迫下 ☎090・1154・0842）

商品がなくなり次第閉店します。祝日も営業します。

新たな計画を策定します。ご協力ください

◎人口減少の克服と地域活性化のための「総合戦略」

本市の10年後のあるべき姿と、進むべき方向を示す基本的な指針となる第4次泉大津市総合計画が、本年4月にスタートしました。

このような中、国において人口減少の克服と地方の活性化に取り組むため、まち・ひと・しごと創生法が制定されました。これに伴い、現状と50年後の人口の展望を示す「人口ビジョン」と、地域の実情に応じた今後5年間に取り組みを示す「総合戦略」の策定が求められています。そこで第4次泉大津市総合計画の考え方をもとに、「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定するため、皆さんにご協力をお願いします。

①アンケート調査を実施（5～7月実施予定）

「結婚・出産・子育てに関する意識調査」や「若年層の意識調査」「転入者の意識調査」などについてアンケート調査を実施します。アンケートが自宅に届いた皆さんは、ご協力をお願いします。

②市民委員を募集

泉大津市総合戦略推進委員会を開催します。この委員会の市民委員を次のとおり募集します。

募集期間 5月1日(金)～20日(水)（必着）
募集人数 3人 **委嘱期間** 6月上旬～平成28年3月末 **謝礼** 1回9,000円

活動内容 委嘱期間中、4回（月1回）程度の会議に出席。会議は原則、昼間に開催（一時保育有）。

応募条件 市内在住で次に該当する人をそれぞれ各1人募集 ①おおむね20～39歳の人 ②おおむね40歳以上の人③現在子育て中の人

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、作文（「若年層が子どもを産み・育てたいと思う泉大津市にするにはどうすべきか」をテーマに800字程度）を添えて、企画調整課へ持参、または郵送。応募用紙などは、企画調整課で配布するほか市ホームページからもダウンロード可。

◎本市の文化・芸術を活性化「文化芸術振興計画」

現在の「泉大津市文化芸術振興計画改訂版」に続き、(仮称)第2次泉大津市文化芸術振興計画を策定中です。本計画を、市民の皆さんのご意見を反映させたものとするため、5月中に次の2種類のアンケート調査を実施します。

▷無作為に抽出した16歳以上の市民2,000人が対象の「市民アンケート」

▷市内で文化芸術に関わる団体が対象の「団体アンケート」

問合せ 企画調整課（市役所4階）

■ 歳出の概要

地方自治体の歳出を分類する方法には、経済的性質に分類した「性質別経費」と、行政目的に分類した「目的別経費」があり、それぞれ以下のグラフのとおりとなっています。

地方自治体の経費を性質別にみると、「義務的経費」・「投資的経費」・「その他の経費」に分類することができます。「義務的経費」とは支出が義務付けられており、任意に節減することのできない経費（人件費・扶助費・公債費）で、「投資的経費」とは学校や道路などの建設・整備に要する経費です。そして、歳出全体から「義務的経費」及び「投資的経費」を除いた経費を「その他の経費」としています。

本市の性質別経費およびその構成比は、義務的経費 156 億 8,708 万円（構成比 56.2%）、投資的経費 21 億 1,973 万円（構成比 7.6%）、その他の経費 100 億 8,579 万円（構成比 36.2%）となっています。

■ 性質別内訳

【義務的経費】

義務的経費は、前年度と比較して 1.7%減の 156 億 8,708 万円（2 億 6,800 万円の減）、歳出全体の 56.2%としました。扶助費については、生活保護費のほか、高齢者、児童、障がい者などに対する社会保障関係費として 1.8%増の 80 億 8,938 万円（1 億 4,333 万円の増）、人件費は 5.6%増の 44 億 5,258 万円（2 億 3,478 万円の増）と見込む一方、市債の償還に係る公債費については、17.0%減の 31 億 4,513 万円（6 億 4,611 万円の減）と見込み、主な減の要因となりました。なお、直近 5 年間の扶助費の推移については下のグラフをご参照ください。

【投資的経費】

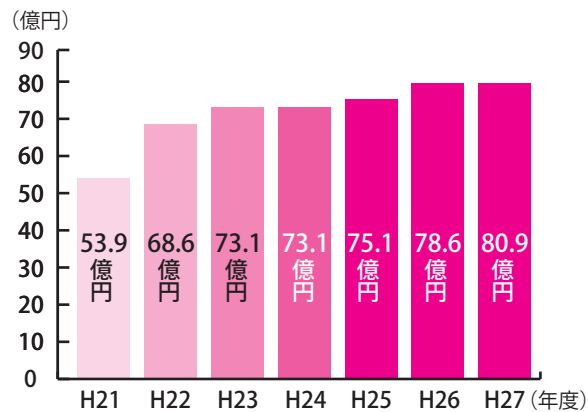
投資的経費は、前年度と比較して 75.7%増の 21 億 1,973 万円（9 億 1,360 万円の増）、歳出全体の 7.6%としました。この増となった主な要因は、南海本線連続立体交差事業費を 8 億 1,129 万円（3 億 6,512 万円の増）、助松市営住宅耐震改修事業費を 1 億 3,532 万円（1 億 3,532 万円の増）、旭小学校増改築事業費を 4 億 5,733 万円（3 億 6,951 万円の増）、中学校体育館非構造部材改修事業費を 1 億 5,795 万円（1 億 5,795 万円の増）と見込んだことによるものです。

【その他の経費】

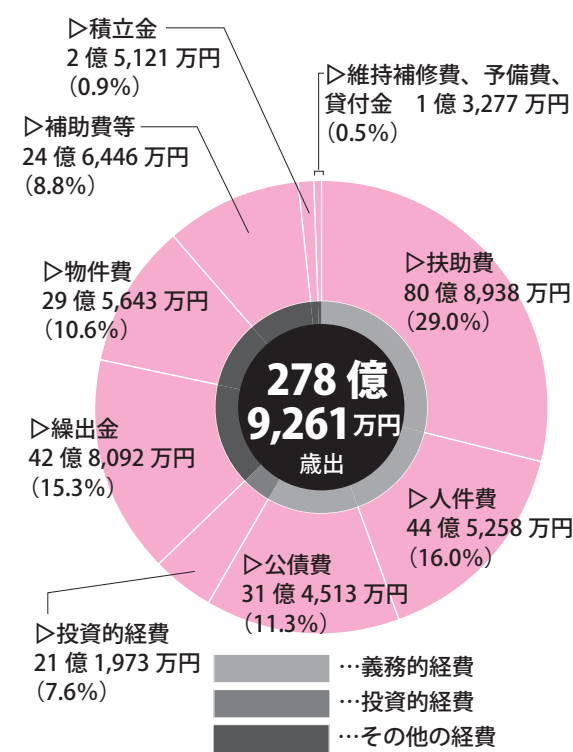
その他の経費は、前年度と比較して 1.0%減の 100 億 8,579 万円（1 億 361 万円の減）、歳出全体の 36.2%としました。この減となった主な要因は、臨時福祉給付金を 1 億 800 万円（1 億 9,386 万円の減）、下水道事業特別会計繰出金を 15 億 5,000 万円（1 億円の減）、子育て世帯臨時特別給付金を 3,600 万円（6,761 万円の減）と見込んだことによるものです。

■ 扶助費の推移

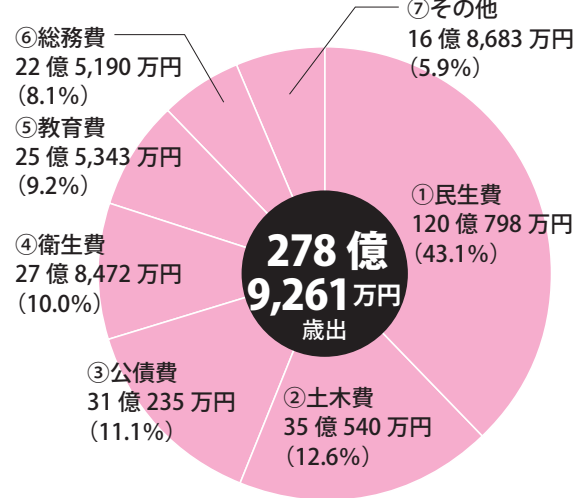
H21～25 は決算、H26 は決算見込み、H27 は当初予算



■ 歳出 使いみちの「性質」別内訳グラフ



■ 歳出 使いみちの「目的」別内訳グラフ



■ 歳出 市民一人あたりの予算

平成 27 年度の歳出予算額を、市民 1 人あたりに置き直すと… ※平成 27 年 1 月 1 日現在住民登録人口 7 万 6,228 人で計算

●市民一人あたりの予算…36 万 5,910 円

①民生費（高齢者や児童の福祉に）	15 万 7,527 円
②土木費（道路・河川・公園整備に）	4 万 5,986 円
③公債費（借入金の返済に）	4 万 698 円
④衛生費（ごみ処理や病気予防に）	3 万 6,531 円
⑤教育費（学校、公民館、生涯学習に）	3 万 3,497 円
⑥総務費（窓口業務や税金徴収に）	2 万 9,542 円
⑦その他（消防活動、防災、議会、商工、農林水産業に）	2 万 2,129 円

市民 1 人あたりの歳出総額 36 万 5,910 円



平成 27 年度 泉大津市予算

一般会計は前年度比 2.0% 増の 278 億 9,261 万円

【平成 27 年度予算の内容】

一般会計をはじめとする平成 27 年度当初予算が 3 月議会で可決されましたので、その概要をお知らせします。

一般会計、特別会計、企業会計の全会計における総額は、前年度比 1.4% 減の 585 億 2,159 万円、うち、一般会計は前年度比 2.0% 増の 278 億 9,261 万円となっています。

一般会計において、前年度比 5 億 4,199 万円の増となっているのは、南海本線連続立体交差事業や旭小学校増改築事業などの投資的経費や、退職手当をはじめとする人件費の増が主な要因です。

■ 平成 27 年度 当初予算

※表示単位未満を四捨五入している関係で、計が一致しないことがあります

会計名	平成 27 年度 (A)	平成 26 年度 (B)	増減額 (A - B)	増減率
一般会計	278 億 9,261 万円	273 億 5,062 万円	5 億 4,199 万円	2.0%
特別会計	212 億 7,239 万円	207 億 8,955 万円	4 億 8,284 万円	2.3%
企業会計	93 億 5,659 万円	112 億 722 万円	▲18 億 5,063 万円	▲16.5%
計	585 億 2,159 万円	593 億 4,739 万円	▲8 億 2,580 万円	▲1.4%

■ 歳入の概要

歳入は、市税や使用料・手数料など地方自治体の権限で収入できる財源「自主財源」と、地方交付税や国府支出金など国や府の意思決定に基づき交付される財源「依存財源」に分けることができます。

【自主財源】

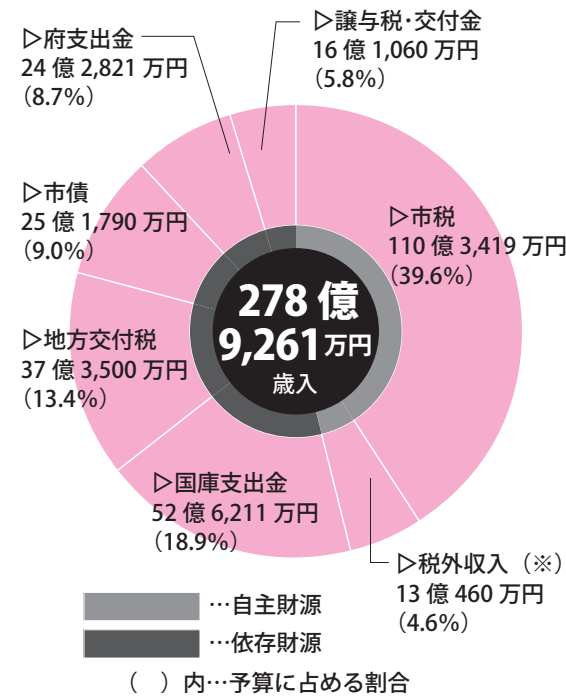
自主財源は、前年度と比較して 2.5% 減の 123 億 3,878 万円（3 億 1,665 万円の減）、歳入全体の 44.2% と見込みました。このうち、自主財源の柱である市税は、法人市民税の減収を見込み、1.4% 減の 110 億 3,419 万円としました。

また、税外収入については、前年度と比較して 11.2% 減の 13 億 460 万円としました。このうち、市民の皆さまにご負担いただいている一般家庭ごみ収集手数料は 1 億 385 万円を見込んでいます。

【依存財源】

依存財源は、前年度と比較して 5.8% 増の 155 億 5,382 万円（8 億 5,864 万円の増）、歳入全体の 55.8% と見込みました。この主な増の要因としては、南海本線連続立体交差事業、旭小学校増改築事業などの投資的経費の財源として発行する市債の増や、消費税増税後の税率による税収が平年度化されることに伴い、地方消費税交付金を 12 億 5,000 万円（3 億 5,400 万円の増）と見込んだことによるものです。このうち、増税相当分の 5 億 1,500 万円は社会保障財源交付金として社会保障関連経費に充てられます。

なお、市債の発行予定額には、本年度増加する退職手当を賄う財源として退職手当債 3 億円が含まれています。



※税外収入…諸収入、使用料及び手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金

■ 市債と一般会計基金の残高 (平成 27 年 2 月現在)

市債残高	283 億 9,500 万円
一般会計基金残高	26 億 227 万円



泉大津のふるさと風景ともいうべき歴史的な町並み、浜街道。

おいでや！ 浜街道まつり



5月24日(日)

300年前の町割が残る
毛布発祥の地「浜街道」

浜街道一帯は、「紀州街道」の海側に位置し、各時代の町家建築が多く残され、寺内町として発展してきた地区で、歴史のある寺院がまちなみ景観を支えています。

歴史をたどると、江戸時代から漁業・農業のかたわら真田紐を生産し、その後期から明治にかけては家内制手工業を確立、その後毛布産業の素地をつくりあげました。

現在に至っても毛布発祥の地として、継承されている本格的なかわら屋根の工場群(通称のこぎり屋根など)を含めた町並みは、住工が混在する一種独特な歴史的景観を醸し出す町並みとなっています。

日時 5月24日(日) 午前10時～午後4時

場所 浜街道周辺地域 (新川中橋付近 神明町・本町・東港町)

内容 ▷街角ギャラリー (ワークショップ、アートクラフトなどの展示販売) ▷ミュージックストリート ▷子ども昔あそび (コマ、べったん、ビー玉、おじゃみなど)▷街角手作りショップ ▷落語 ▷狂言▷絵本ひろば など (予定)

■ 浜街道まつり前日には、前夜祭を行います。

日時 5月23日(土) 午後6時30分開演 (午後6時開場)

場所 南溟寺 (神明町6-15) 演目 泉大津市浜の物語・狂言

定員 100人 (申し込み不要。先着順) 車での来場はご遠慮ください

問合せ まちづくり政策課 (市役所2階23番窓口)

🎭 文化薫るまち、いずみおおつ。「泉大津市文化フォーラム」

笑って、温かくて、切なくて 絵本で子どもの夢育てよう

今、子どもを夢中にさせている大阪の絵本作家をお招きし、愉快的トークライブを開きます。スクリーンに絵を映しながら絵本を読み、ウクレレを弾きながら歌を歌い、絵を描きながら話を展開。入場無料。南海電鉄後援。問合せ 秘書広報課 (市役所4階)



長谷川さんが、この十数年間で描いた絵本は約150冊に達します。ユーモラスな画風に大胆なタッチ、ほのぼのとした物語は子どもから大人まで多くの人の心をとらえ、現在、最も人気ある作家といわれます。絵本の魅力を引き出し、アピールする「絵本ライブ」も大好評で、全国を精力的に回っています。

● 5月3日(祝)「絵本で子どもたちを元気に」長谷川義史絵本ライブ 長谷川義史さん (絵本作家)
▽午後2時～3時30分 (1時間場) ▼テクスピア大阪テクスピアホール ▼当日先着500人

のぼのとした作品を次々に発表。『おたまさんのおかいさん』で講談社出版文化賞絵本賞を受賞。『かあちゃんかいじゅう』でけんぶち絵本の里大賞、『いろはにほへと』で日本絵本賞、『ぼくがラーメン食べるとき』で日本絵本賞と小学館児童出版文化賞、さらに『いいからいいから3』で再び、けんぶち絵本の里大賞を受賞し、賞を総なめ。また『だじやれ日本一周』は発行部数23万部の人気を集めています。

近年は社会性のあるテーマに取り組んでいます。2013年6月、沖縄慰霊の日の戦没者追悼式で小学1年生が朗読した詩「へいわつてすてきだね」に心を動かされ、昨年6月、その詩を絵本にしました。沖縄の自然、家族や友達と過ごす喜び、平和を願う詩と絵は反響を呼び、新聞やテレビで大きく取り上げられました。

長谷川さんは「絵本パワーはすごい。子どもだけでなく、大人も笑ったり、ほっこりしたり、励まされたりします。絵本を通じて子どもの夢を育てませんか」と話しています。

写真／「子どもの心に寄り添っている」といわれる長谷川さん作の絵本

27年度の本市一般会計当初予算を、家計簿におきかえてみると…?

おづみんの家計簿



ここでは、泉大津市の平成27年度の予算を「おづみんの家計簿」に置き換えています。イメージがつきやすいように5,000分の1に縮小してみました。家計簿なので単純に比べられないところもあります。あくまでも参考としてご覧ください。

歳入 おづみんの「収入」

収入の内容	収入額
会社からの給料	221万円(▲2万円)
パート・家賃収入	11万円(▲2万円)
実家からの援助	261万円(+16万円)
不動産収入	10万円(+2万円)
銀行などからの借入金	50万円(+1万円)
貯金の取崩し	5万円(▲3万円)
前年度からの繰越	200円(±0)
1年間の収入合計	558万200円(+12万円)

※()内は前年度比

おづみんのローンと貯金 (平成27年2月現在)

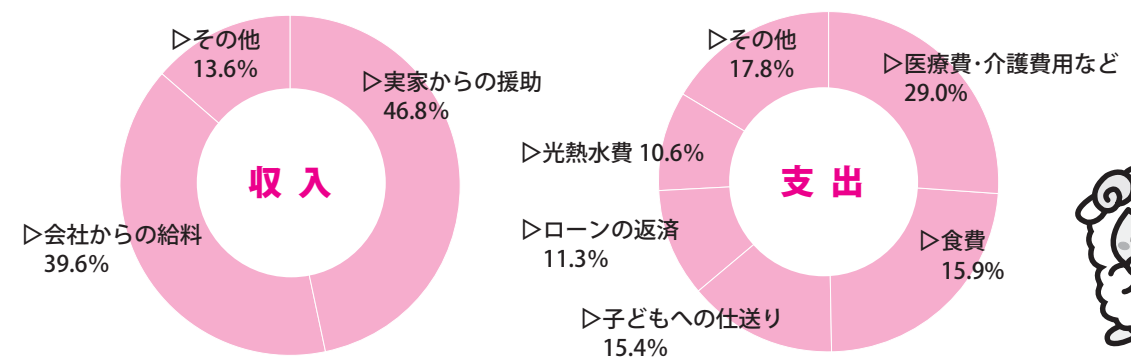
ローン	568万円(▲30万円)
貯金(現金)	52万円(+1万円)

歳出 おづみんの「支出」

支出の内容	支出額
食費	89万円(+5万円)
光熱水費	59万円(+4万円)
医療費・介護費用など	162万円(+3万円)
ローンの返済	63万円(▲13万円)
家・車の修理代など	2万円(±0)
会費・お祝い金など	50万円(▲3万円)
子どもへの仕送り	86万円(▲1万円)
家の増改築・車の購入代など	42万円(+18万円)
友人へ貸したお金	200(±0)
貯金	5万円(▲1万円)
1年間の支出合計	558万200円(+12万円)

※()内は前年度比

おづみんの家計簿の円グラフ



住宅リフォーム工事費用を助成します

助成対象者 市内に住宅を所有し、居住していること (住宅の所有者が市税を滞納していないこと)

助成対象住宅 適法に建築されて5年を経過し、これからリフォーム工事を実施する住宅 (建築確認済証が必要)

助成対象工事 費用が20万円 (税抜) 以上の住宅リフォーム工事で、交付決定前に工事着手していないこと

助成金額 工事費用の10分の1に相当する額 (上限10万円)、耐震改修工事と併用する場合は費用の10分の2に相当する額 (上限20万円)

この助成制度は、同一助成対象者または同一助成対象住宅について1回限り。詳しくは市のホームページ掲載の「泉大津市定住促進住宅リフォーム助成金交付要綱」をご覧ください

問合せ まちづくり政策課 (市役所2階23番窓口)

